



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：

担当者の所属・氏名 呼吸器内科 仁多 寅彦

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器内科 仁多 寅彦

【研究分担者】

聖路加国際病院 放射線科 松迫 正樹、
呼吸器外科 小島 史嗣、
病理診断科 牛草 健

手術検体で間質性肺炎があった方を対象とした、 その後の間質性肺炎の進行に関する研究

1.研究の対象

2012年1月から2017年12月までに当院呼吸器外科にて手術を受けられた方で、肺悪性腫瘍の診断となり、術後5年以上CT画像で肺野を経過観察されている方

2.研究の目的・方法

現在、CT画像で指摘された軽微な間質性陰影がその後長い経過を経て進行することがわかっていますが、今回手術を契機に病理組織検査で間質性肺炎をすでに指摘された方を調査し、術後の臨床経過を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長の実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

該当データの利用開始は、2023年10月6日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、手術前と術後5年以上経過するまで撮像されたCT画像の所見、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等